

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
昭和58年1月4日 第37報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Phormidium tenue*</i>	40		
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	520	○	
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	160		○
(黄鞭) <i>Chrysosphaerella sp.</i>	360		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	100		
(黄鞭) <i>Chrysidiastrum catenatum</i>	140		
(珪) <i>Melosira distans</i>	160		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	60		
(珪) <i>Skeletonema potamos</i>	160		
(珪) <i>Synedra acus</i>	40		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	280		◎
(緑) <i>Carteria sp.</i>	20		
(緑) <i>Tetraspora lacustris</i>	160		
(緑) <i>Micractinium pusillum</i>	40		
(緑) <i>Dictyosphaerium pulchellum</i>	720	◎	
(緑) <i>Quadrigula sp.</i>	40		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus var. mirabile</i>	160		
(緑) <i>Ankistrodesmus sp.</i>	80		
(藍) 藍藻綱	40	1.2	0.6
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	1280	39.5	41.2
(珪) 珪藻綱	420	13.0	17.3
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	280	8.6	28.6
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	1220	37.7	12.2
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細胞 数	3240	総体積	
種 類 数	18	(μm^3)	1.66E+06

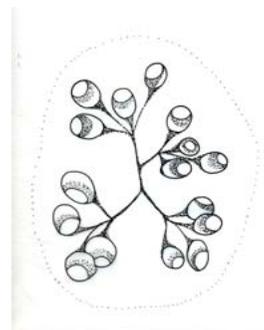
- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Dictyosphaerium pulchellum</i>	720

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
黄色鞭毛藻綱	<i>Uroglena americana</i>	520

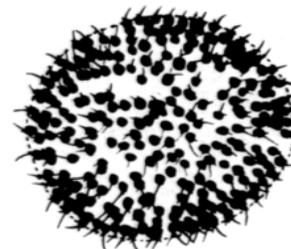
植物プランクトン第1優占種



Dictyosphaerium pulchellum
(ディクテオスファエリウム プルケルム)
緑藻綱

4、8、16、32細胞からなる球形ないし卵形の定数群体で、透明な寒天状の基質で包まれている。細胞はほぼ楕円形で、群体の中心から放射状に伸びる寒天質状の紐状体でつながっている。

植物プランクトン第2優占種



Uroglena americana
(ウログレナ)
黄色鞭毛藻綱

楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。